

## 踊った！明治150年

楠葉台場跡に800人

明治維新150年の節目に幕末志士たちを慰霊しようと、11月3日に鳥羽・伏見



の戦いに関わった国史跡「楠葉台場跡」で市民グループの企画による盆踊りが開かれ延べ800人が訪れました。鹿児島のおはら節などで踊りの輪は徐々に広がり、江州音頭取りの二代目桜川唯丸さんが登場すると盛り上がりは最高潮に。観客も加わり約80人も大きな輪となりました。北楠葉町から来た40代女性は「見ているのもいいけど、踊るとさらに楽しいですね」と笑顔でした。

## 軒下のやさしい絵に笑顔

枚方宿のアート巡り



11月3日～4日、新町の枚方宿街道沿いで「まちかどアート巡り」が開催され、枚方ゆかりの作家12人の作品が10カ所で展示されました。「小野家」玄関前には縦200cm横240cmの巨大な布に描かれた沖明日香さんの作品。かわいい子どもたちやヤギが淡く優しいタッチで描かれ、1歳の息子と散歩中にたまたま通り掛かったという磯島南町在住の安藤彩子さん（33歳）は「引越してきたばかりですが枚方はイベントがいっぱいですね。見ていて楽しかったです」と笑顔でした。

## サツマイモ食べるの楽しみ

穂谷の収穫イベントに8000人



約20ヘクタールの広大な農地で地元農産物に親しむ「収穫の秋 穂谷」が10月13日に開かれ約8000人が訪れました。今年は台風の影響で黒枝豆の収穫や販売はありませんでしたが、サツマイモ畑は大にぎわい。スコップを手に力を合わせて掘り出したサツマイモを掲げにっこり微笑みあう親子も。5歳の息子と長尾から来た大西あやかさん（32歳）は「バターや天ぷらで食べるのが楽しみ」と話しました。

## 46年ぶり にいなめさい 新嘗祭へお米を献穀

▶ 献穀で使用した風呂敷と木箱を前に献納式の様子を語る若林さん。



収穫を感謝し豊穰を祈る皇室の祭儀「新嘗祭」のため、10月22日に大阪府を代表して若林勲さん（81歳）が献納式に参加し、新穀の白米約1升を献穀しました。枚方からは46年ぶりで、26日に市役所へ報告に訪れた若林さんは「田植えから収穫まで細心の注意を払いました。献納式では天皇陛下からお言葉をいただいて感無量です」と話しました。

## 伝統担いで「えらさっさ」

4町のみこしが枚方市駅周辺を巡行



江戸時代から続く伝統行事のふとん太鼓巡行が今年も10月14日に行われました。岡本町・岡東町・新町・三矢町のみこしが次々に枚方市駅前に現れると、雰囲気は一気に祭り一色に。子どもたちの太鼓と「えーら、えーら、えらさっさ」のおおやしに合わせてみこしが持ち上がると周辺からは歓声が上がりました。御殿山から五六市に来ていた野見山梨奈子さん(29歳)は「初めて見たけど、迫力があってカッコいいですね!」と話しました。

## のんびりできたかな?

みどりのプラットホームが実験イベント



まちなか緑化や公園の利活用に取り組む市民コミュニティ「みどりのプラットホーム」のメンバー16人が11月10日、王仁公園小グラウンドで初の実験イベント「まちのみどりを楽しもう」を行いました。デイキャンプ体験やリース作り、寝転んで絵本を読める空間などのプログラムがあり、タイヤのブランコは順番待ちができるほど多くの親子連れでにぎわいました。ブランコを作ったメンバーの山口遼太さん(36歳)は「自然の中でのんびりしてもらえて良かった。これからも緑の楽しみ方を提供していきたい」と話しました。

## 小中高生バトンつないだ!

長尾の世代間交流地域ふれあい体育祭



10月21日、「世代間交流地域ふれあい体育祭」が長尾小学校で開かれました。同校区コミュニティ協議会が住民の孤独化を防ごうと初めて企画したもので、野球やサッカーなど地域スポーツ団体の練習実演や長尾中吹奏楽部の演奏の後、小・中学、高校生40人が4チームに分かれリレー。アンカーの高校生にバトンが渡ると走り終えた小・中学生から「頑張れー!」と大声援が送られました。長尾高3年陸上部の阪上翔悟さんは「地域と触れ合えて楽しかったです」と笑顔でした。

## 100キロ完歩で深まる絆

和歌山へ助け合いの挑戦



◀ゴールの和歌山市浜の宮ビーチで

毎年夏に淀川で「ライトアップフェスティバル」を開催する市民グループ「Light up OSAKA」のメンバー20人が、10月13日～14日に枚方から和歌山までの約100キロを歩きました。和歌山の市民団体と災害時に歩いてでも助け合うつながりを作ろうと企画したもので、各地のコンビニ等で休憩を取りながら、約29時間かけて完歩。代表の井關拓史さん(32歳)は「挑戦が絆を深めると改めて実感です」と話しました。

## 菊花展



## ひらかた菊フェスティバル 市の花であふれた20日間

市役所周辺では地域の子もたちや菊愛好家などが育てた約1000鉢が花を咲かせ、大河ドラマ「西郷どん」の「西南戦争」や「篤姫の送別会」を表現した菊人形に多くの人が見入っていました。菊の栽培が生きがいという藤阪東町在住の一色明倫さん(85歳)は「他の人はどんな菊を育てているのか楽しみで見に来た。どの花もとてもきれい」と笑顔でした(10月24日～11月12日開催)。



## 市民菊人形展

▼岡東中央公園のステージには嵐山の風景を人形で彩った特設花壇も。



## 枚方宿街道菊花祭



▲初の夜間ライトアップでは、帰り道のサラリーマンや学生も立ち止まり写真撮影を楽しんでいました。



最寄り駅はひらかたパークと同じ枚方公園駅。「入社後の研修は約15分歩きました。バスなら約5分！」と兒玉選手。



「バス停『さつき丘』を降りると目の前がゲートです」と今村選手。

アリーナは3000人収容。「ユニホームの色を向けて応援してください」と今村選手。2人が音楽に合わせて応援している動画は下記コードからどうぞ！1月5日(土)はホームゲームに招待(22ページ参照)、練習も見学可。「試合より近く感じてもらえるので、ぜひ」と兒玉選手。詳細はパンサーズホームページ(☞<https://Panasonic.co.jp/sports/volleyball/>)参照。



昭和40年代に松下電器体育館として建設。10月に始まったV.LEAGUEではパンサーズの本拠地として5試合を予定。住所は菊丘南町2-10。

観覧車  
見ながら  
歩いています。

## 市PR大使! PANTHERS × 枚方市 パンサーズが行く! Vol.1 パナソニックアリーナ

V.LEAGUEの男子バレーボールチーム「パナソニック パンサーズ」の選手が市内スポットを巡る新コーナーがスタート(不定期)。



### いまむらたかひこ 今村貴彦選手(25歳)

背番号9。アウトサイドヒッター/オポジット。「先日通りすがりの方に『頑張ってるね』と声を掛けられ燃えています!」。

### こだまやすなり 兒玉康成選手(24歳)

背番号21。ミドルブロッカー。「岡東中央公園に菊がたくさん並んでいたりお店が出ていたり、イベントが多いのが枚方の魅力ですね」。

## 広報課職員の 編集後記



特集の取材で各学校へ。廊下ですれ違う児童や生徒が初対面の僕に対しても元気にあいさつしてくれて「かしこいなあ」

と感動しました。昔の自分はこんな風にあいさつできていたかと思返すと、恥ずかしくなりました。反省。